

## 事業事前計画表(基本設計時)

<b>1. 案件名</b>
ウガンダ国東部ウガンダ医療施設改善計画
<b>2. 要請の背景(協力の必要性・位置付け)</b>
<p>(1) ウガンダ共和国(以下「ウ」国)政府は、2000年に貧困撲滅行動計画(Poverty Eradication Action Plan:PEAP)を策定し、2000/01～2004/05年を計画期間として実施中である。PEAPの主戦略の一つは貧困層の健康改善であり、プライマリー・ヘルスケア(Primary Health Care, PHC)が重点課題事項に挙げられている。PEAPの枠組の下、同2000年には保健分野戦略計画(Health Sector Strategic Plan I 2000/01-2004/05:HSSP I)が策定され、「国民の疾病率・死亡率の低減と地方格差の是正」を開発目標として、保健医療サービスの改善に取り組んでいる。</p> <p>(2) しかし、同国の保健指標は低位にあり、死因の上位は予防・治療が可能な感染症(マラリア、急性呼吸器感染症、エイズ、下痢症)や周産期／妊産婦の合併症が占めている。とりわけ、人口の9割が居住する地方部には適正な保健医療サービスが届かない状況にある。このことから、全国民の健康改善を実現するには、地方部での保健医療サービスの改善と強化が不可欠であり、特にPHCの普及と母子保健の改善が急務となっている。</p> <p>(3) 「ウ」国の地方医療システムは、地域レファラル病院、総合病院、保健センターⅣ、Ⅲ、Ⅱ及びⅠで構成されている。しかし、既存施設の多くは老朽化しており、基礎的な医療機材も故障ないし不足しており、地域住民に適正な保健サービスを提供できない状況にある。保健省ではアフリカ開発銀行や他ドナーの支援を受けて、これら地方医療施設の改善と機材整備、人材配置を急いでいるが、地域レファラル体制を構築する上で不可欠である総合病院と保健センターの機能強化が遅れている。</p> <p>(4) 本計画は「ウ」国東部の4県(ムバレ県、トロロ県、ブギリ県及びブシア県)を対象地域として、1地域レファラル病院、5総合病院並びに28の保健センターⅣ及びⅢについて、我が国政府の無償資金協力により施設整備と機材調達を行うものである。</p> <p>(5) 我が国の「ウ」国保健医療分野への支援は、これまで無償資金協力による国立ムラゴ病院、ソロティ地方への機材整備、個別専門家の派遣などが実施され、また、今後、医療機材の維持管理に係る技術協力プロジェクトも計画されている。本計画はこれらの活動の効果に加え、同国の地域保健医療システムのさらなる質的向上に資することを目的としている。</p>
<b>3. プロジェクト全体計画概要</b>
<p>(1) プロジェクト全体計画の目標(裨益対象の範囲及び規模) 対象地域の地域レファラル病院・総合病院・保健センターの診療環境の改善により、地域医療のレファラル体制が整備され、保健医療サービスの質的向上が期待される。 (直接受益者:ムバレ県、トロロ県、ブギリ県及びブシア県の住民 1,979,000人) (間接受益者:「ウ」国東部地域の住民約 5,600,000人)</p> <p>(2) プロジェクト全体計画の成果</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 地域レファラル病院、総合病院の施設・機材が整備され、病院機能が改善される。</li><li>2) 保健センターの医療サービスが改善され、特に分娩サービスの質が向上する。</li><li>3) 対象地域の救急搬送手段が確保される。</li><li>4) 地域全体の医療指標が向上する。</li></ol> <p>(3) プロジェクト全体計画の主活動</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 地域住民に対する基本的医療サービスが提供される。</li><li>2) <u>対象となる1地域レファラル病院、5総合病院に対して施設建設・改修を行う。</u></li><li>3) <u>上記の6病院に加え、28の保健センターⅣ、Ⅲに対して機材調達と据付を行う。</u></li></ol>

4) 新たな施設・機材を活用して効率的な運営・レファラル活動が実現する。

(4) 投入(インプット)

1) 日本側

① 無償資金協力 16.58 億円

2) 相手国側

① 職員の確保及び訓練による技術力の向上

② インフラ接続と外構工事

③ 施設・機材の運営維持管理に必要な経費の確保

④ 既存施設の改修・転用の実施

(5) 実施体制

主管官庁：保健省保健サービス局

実施機関：ムバレ地域レファラル病院及び各県保健事務所

#### 4. 無償資金協力案件の内容

(1) サイト(34 ヶ所)

ムバレ地域レファラル病院

ブドゥダ総合病院、トロロ総合病院、ブソルヴェ総合病院、ブギリ総合病院及びマサフ総合病院(現保健センターⅣ)

保健センターⅣ 5 ヶ所 ブゴベロ、ムクジュ、ナンコマ、ブインジャ及びブシア

保健センターⅢ 23 ヶ所 ナマケケ、ブキガイ、ブサノ、ブポト、ブムウオニ  
イヨルワ、キレワ、クワバ、ブサバ、パヤンガシ  
シングル、バンダ、ブリダ、ブルグイ、ブレサ、ムツンバ、ムテレレ  
ブシテマ、ブテバ、ブヘヘ、ブルンビ、ムベヘニ及びルンヨ

(2) 概要

医療施設の建設(4 病院)：ムバレ地域レファラル病院、ブドゥダ総合病院、トロロ総合病院及びマサフ総合病院

電気設備の改修(2 病院)：ブソルヴェ総合病院及びブギリ総合病院

医療機材の調達(6 病院+28 保健センター)：上記の 6 病院に加え、(1)の保健センター

(3) 相手国負担事項

敷地準備工事(既存施設の撤去など)

インフラ引込工事(井戸、電気など)

その他(既存施設の転用・改修など)

(4) 概算事業費

17.66 億円(無償資金協力 16.58 億円、「ウ」国側負担 1.08 億円)

(5) 工期

詳細設計・入札期間を含めて約 25 ヶ月(予定)

(6) 貧困、ジェンダー、環境及び社会面の配慮

・ 特になし

#### 5. 外部要因リスク(プロジェクト全体計画の目標達成に関するもの)

・ 社会・経済状況に大規模な変化がない

#### 6. 過去の類似案件からの教訓の活用

・ 特になし

## 7. プロジェクト全体計画の事後評価に係る提案

### (1) プロジェクト全体計画の目標達成を示す成果指標

地域医療システムの中核をなす 6 病院(ムバレ地域レファラル病院、ブドゥダ、トロロ、ブソルヴェ、ブギリ及びマサフ各総合病院)における、以下の指標を成果指標とする。

#### 1) 診療件数の増加

	実施前(2004 年)	施設完成 (2007 年) 以降
外来件数	244,765	増加する
マサフ総合病院 入院件数	4,523	増加する

#### 2) 検査件数の増加

	実施前(2004 年)	施設完成 (2007 年) 以降
全 X 線検査	9,161	増加する
全超音波検査	378	増加する
全心電図検査	0	増加する

#### 3) 医療活動の増加

	実施前(2004 年)	施設完成 (2007 年) 以降
全分娩数	9,602	増加する
全帝王切開数	1,365	増加する
全手術数	2,987	増加する

### (2) 評価のタイミング

- ・ 施設完成(2007 年)以降